

平成27年度共晶会関東支部活動報告

平成27年度共晶会関東支部総会は、例年通り神田錦町の学士会館302号室で、11月8日に開催されました。今回は、平成27年3月まで名古屋大学教授を務められ、4月に中部大学工学部機械工学科教授に就任された石川孝司先生（名古屋大学名誉教授）をお招きして、総勢15名の方々が参加されての開催となりました。

ちなみに会場の学士会館ですが、訪問された方をご存知だと思いますが、会館1階フロント前には、旧帝国大学の7大学に関する展示コーナーがあり、名古屋大学に関しては、当然ですがノーベル賞一色の展示となっています。近くに行かれる機会がありましたら、是非一度足を運んではいかがでしょうか。

開会に当たり、急遽海外出張でやむなく欠席となった柴山支部長の代行として、元支部長の藤井先輩（昭和42年卒）よりご挨拶と石川先生のご紹介を頂き、あいにくの雨天ではありましたが、定刻通り午前11時に総会がスタートしました。

石川先生の特別講演は、「塑性加工による部材軽量化」というテーマで、先生が名古屋大学時代にその設立・運営にご尽力されて来られた、名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター（GREMO）における、GV（グリーンビークル）の研究開発ロードマップに基づき、そのキーとなる自動車部材の軽量化、高機能化技術の一端のご紹介を頂きました。高張力鋼、テーラードブランク、アルミ鍛造、チューブハイドロフォーミング、サーボプレス加工、複動油圧プレス加工、閉鎖鍛造法、分流鍛造法、軟質鋼・黒鉛鋼・非調質鋼等々、先生のお話は多岐に渡った非常に興味深い内容で、出席者全員が学生時代に戻ったように真剣に聴講し、一時間という予定の時間は、あっという間に過ぎてしまいました。

石川先生には、非常にご多忙なスケジュールの中、今回の特別講演をご快諾頂き、心より感謝申し上げますと共に、今後も共晶会メンバーとして、機会がございましたら是非、関東支部にも時々お顔を出して頂きたく、よろしく願い申し上げます。

特別講演の後は、今回の出席者の中では最高齢の大先輩である星野さん（昭和30年卒）の乾杯のご発声で会食がスタートしました。昨年同様、ノーベル賞の話などで各テーブルでは大いに話が盛り上がりました。午後1時頃より、出席者全員が一人ずつ、これまた恒例である近況報告を行って頂きました。大半の方は既に現役を退いていらっしゃいますが、皆さんそれぞれ第二、第三の人生を謳歌されており、社会貢献活動や多方面に渡る趣味に関するご紹介があり、中には、プロジェクターを使っただけの本格的発表などもあり、こちらも大いに盛り上がりました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうもので、予定通り、午後2時に、出席者全員で写真撮影を行い、来年の再会（平成28年11月13日）を誓って閉会となりました。

今回の総会開催に当たっては、共晶会本部より関東方面在住メンバーの情報を頂き、主にメールにより出席者の募集を行い、そのお陰で初めて出席された方もいらっしゃいました。今後の開催に関しては、これまで通り、常連メンバーの方々及びそのの方々による知人の勧誘に加えて、現役メンバーの新規出席者を確保することが課題であります。ネットを活用した共晶会関東支部情報公開と会員同士の交流なども視野に入れて、本部と連携をとりながら、活動を続けてゆきたいと思っております。

(共晶会関東支部事務局 黒岩和典)



藤井さん開会の辞



石川先生特別講演



乾杯



歓談・近況報告



全員で記念撮影